

第5次阿久比町総合計画（案）に対するパブリックコメント（意見募集）の結果について

	意見（要旨）	意見に対する町の考え方
1	あらゆる立場の人でも生活しやすい街づくり～交通安全における重点課題：歩車分離式信号の設置をして欲しい。分離式のほうが、無駄な交通渋滞や事故も減少し、信号の待ち時間がはっきりしているほうが、アイドリングストップも実行しやすく環境にもよい。歩行者にとっても、現状よりは安心して横断しやすくなる。	第2章第5節(2)の中で「安全に通行できるよう、カーブミラー、ガードレール、道路標識などの交通安全施設の整備・充実に努めます。」の記述があります。 信号機の具体的な個別案件については、今後県公安委員会など関係機関と協議しながら、検討していきます。
2	老朽化した保育園舎の改修について、統廃合も含めて、大胆な将来予測を立てることが必要ではないか。少子高齢化の町の人口推移を考え、各学区に1か所、子育て支援施設に高齢者用施設を併設することを提案する。	第3章第1節(4)に「保育園の統廃合も含め、老朽化した園舎の改修を推進します。」の記述があります。施設の併設など具体的な事業については、実施計画で検討していきます。核家族化などにより、ふれあう事の少ない幼児と高齢者の交流は大変有意義であると考え、以前から保育園児と宅老所・老人クラブなどと交流を行っており、今後も地域の世代間交流や異年齢交流を推進していきます。
3	とじこもり定職を持たない若者に対して行政は支援体制をとる意思はありますか。	第3章第4節(5)の中で「総合的な相談・情報交換体制の整備を図ります。」の記述があります。住民が住み慣れた地域の中で安心して暮らすことができる相談体制の充実に努めていきます。
4	一人暮らし高齢者の住宅を町が買い上げて、その資金で生活が出来るようにする。また持ち主没後町営住宅にしてはどうか。また外出援助として巡回バスを走らせてはどうか。	高齢者の住宅を町が買い上げる考えはありませんが、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、在宅福祉の充実に努めていきます。 また、移動手段の確保は重要と考え、第1章第3節(4)の中で「循環バスの運行を推進します。」と計画しています。